

◆企画名	<u>新入生歓迎オリエンテーション</u>
日 程	<u>2025年4月2日（水）から4日（金）11時～16時</u>
場 所	<u>関西大学千里山キャンパス内</u>
参加者数	<u>18人（うち、ピア・サポート員及びシニア・サポート員13名、研修生5名）</u>
目 的	

- ・新入生歓迎オリエンテーションに参加し、今年度入学した新入生に対して、ピア・サポートとは何かということを周知するための機会とし、ピア・コミュニティの活動に興味を持ってもらい、新メンバー募集の促進に役立てること。
- ・新入生歓迎オリエンテーションを通して、ピア・コミュニティとして各コミュニティのメンバーを募ることにより、関西大学ピア・コミュニティ全体の規模拡大を図ること。



内 容

1日を2パートに分け、3日間において参加可能な日時を記入するシフト制とした。
参加メンバーは、ブースでのピア・コミュニティの説明と大学内でのビラ配布に分かれて活動した。

- ・ブースでの新メンバー募集（シフト制）
- ・ビラの配布による関西大学ピア・コミュニティの広報（シフト制）
- ・看板の設置
- ・サークルガイドに関西大学ピア・コミュニティの掲載

役割分担を当日にビラ配り、ブース説明、ブース前で呼び込み（ビラ配り）の3つに分けて活動した。30分を目安にビラ配りの人があとは戻ってきたら適宜交代した。

時間	内容	備考
9:20～9:40	午前シフト集合	
9:40～10:00	オリエンテーション実行委員会からの貸出備品の受取	貸出を受けた備品は、長机1台、椅子4脚、延長コード1個。
10:00～11:00	ブース設営	置く位置や向きについては、当日協議し決定した。
11:00～13:00	新入生歓迎オリエンテーションを開始	

13:00～13:30	午前午後シフト交代	
13:30～16:00	引き続き勧誘活動を実施	
16:00～16:30	活動終了 貸出し備品の返却	

効 果

- ・新入生にピア・コミュニティのことを知ってもらえる、貴重な機会となった。
- ・ピア・コミュニティのメンバーにとっても、他のサークルの活気や雰囲気を知り、モチベーションの向上につながる良い機会となった。
- ・30分程度で交代にすることにより、負担感なく活動できた。
- ・説明用の資料が多かったことにより、安心してブースで構えることができた。
- ・3日目の後半には、隣のブース（ボランティアセンター学生スタッフのブース）に並んでいた方や、興味がありそうな方に声を掛けると、とても良い反応を得られた。ピア・コミュニティは関大生向けという点で違いはあるものの、ボランティアセンター学生スタッフと類似点が多いため、興味をもってもらえたのではないかと考える。

改 善 点

- ・初日はビラを渡すときの文言を迷い、結局活動内容についてあまり説明できないままビラだけ渡してしまった。
→簡潔にピア・コミュニティを説明できる言葉を、事前に考えておく。
- ・ブースにピア・コミュニティの看板がなかったことで、何の団体か分かりにくかった。
→2日目の後半からは対応したが、最初からホワイトボードに団体名を置いて分かりやすくすれば、もっと気軽に聞きに来てくれたのではないかと思う。
- ・3日目には、1日目に比べて説明の仕方や、ブースまでの勧誘が良くなった。
→来年度に向けて、しっかりと説明の引き継ぎをする。
- ・ピア・コミュニティの人が少なかった
→何人必要なのかの把握を行うとともに、参加しやすくするためにも事前に大まかな役割を伝えておくようにする
- ・前日の状況が共有されておらず、雰囲気がわからず不安であった。
→前日の情報を活かしたほうが良いため、前日の情報として、ブースに来た人の人数を数え、翌日の担当者に引き継ぐ。

感 想

- ・新入生と関わることができて楽しかった。
- ・普段はほかの団体の活動を見る機会はなかつたが、他のサークルや部活に所属する学生も頑張っている姿を間近で見ながら活動できたことで、自分たちも頑張ろう！というモチベーションが向上した。
- ・ビラ配りは、受け取ってくれない方もいて、心身共に疲労したが、声を掛けて受け取ってくれたときや、ブースでの説明を聞いてくれたときは嬉しく、もっとたくさんの学生にピア・コミュニティの活動を知ってもらいたいと感じた。